

4月定例教育委員会 会議録

日 時	令和3年4月14日（水） 午後2時00分～午後2時40分
場 所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	數野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員
出席事務局職員	饗場教育部長・土屋教育総室長・望月生涯学習室長・樋口総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・芦川教育施設課長・田中甲府商業高等学校事務長・佐久間歴史文化財課長・臼井スポーツ課長、本田図書館長・宮川総務課課長補佐・橋田総務課課長補佐・吉田総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・3月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

數野

末木

市川

岡田

原

1 開会

數野教育長

これより4月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

數野教育長

コロナ禍の中での2度目の4月がやってきました。学校現場では、昨年度に学んだ知見と経験を生かした感染症対策を行いながら、新年度をスタートさせたところです。しかし、なかなかコロナウィルスの収束の兆しは見えず、関西や首都圏を中心に第4波が非常に心配される中ですが、数は少なくともワクチン接種が始まったことで、雲の切れ間から少しずつ青空がのぞくように、一步一步前進していくことを期待しています。

さて、令和3年度も、教育委員会として様々な課題に当たっていく必要があります。信玄公生誕500年の記念すべき年に当たり、武田氏館跡歴史館「信玄ミュージアム」をはじめとした関連施設のより一層の利活用、緑が丘スポーツ公園の整備、成人の日のつどいの代替イベントの実施、学校施設の長寿命化計画の推進、GIGAスクール構想による一人一台端末の活用、給食費の公会計化に伴うシステム構築など、引き続き、また新たな各種事業に取り組んでいかなければなりません。

また、学校現場でも、諸課題が待ったなしです。不易の課題である「学力向上」や「いじめ・不登校への対応」、中学校では「新学習指導要領への対応」は欠かせず、全校種を通じて「教職員の働き方改革」は大きな課題となっています。先週の校長会では、4点について重点的に取り組んでいただきたい旨をお話ししました。その4点とは、「with コロナ時代に即した教育課程の編成」「ICT教育の推進による授業改善」「人権意識の向上」「人材育成と人材活用」です。

一つ目の「with コロナ時代に即した教育課程の編成」については、単に「before コロナ」に戻せばよいのではなく、この1年間得た知見や経験を活かし、子どもたちの力を信じて教育課程を見直すことが大切だと考えています。年度途中でも、状況に応じて積極的に見直していくような取組も必要です。

二つ目の「ICT教育の推進による授業改善」については、一人一台端末の整備によるICT教育は、「推進する」すなわち「使う」ことのみが目的ではなく、それによっていかに授業改善がなされるのかが大切であり、最終的にICTを授業に取り入れることで、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるかどうかのポイントです。慌てずじっくりと、そして少しずつ慣れながらでよいので、是非、「授業改善」にまでつなげてほしいと思います。

三つ目の「人権意識の向上」については、まずは、「多様性を尊重する環境を整備すること」に力を入れていただくようお願いしました。教職員も子どもたちも頭の中では「人権」の重要性を理解していても、目に見える環境が変わらなければ児童生徒にメッセージとして伝わりません。いじめや不登校への対応、私たちの言葉遣いなど、様々な環境づくりに気を配っていくことが、甲府市が30年に渡って指導重点に掲げている「思い遣る心」を持った子どもたちの育成につながっていくはずです。

四つ目の「人材育成と人材活用」も重要課題です。新採用者をはじめ増加傾向にある経験の浅い教職員を学校としてどのように育成していくのか、また、再任用者も含めたベテラン教員のモチベーションを保ちながら学校経営の中でどのように有効に活用していくのか、校内でのOJTの取組を活性化するなど、工夫が必要です。

県全体では、「25人学級の推進」と「教員の働き方改革」が重点項目に挙げられています。本市においても小1の25人学級によって4校が対象となりました。来年度はおそらく小2への学年進行が行われるわけですが、教室の確保をはじめとして、いずれ小3に進級したときの学級の人数のギャップなど、課題は残ります。また、「働き方改革」は「人材確保」にも大きく関連します。ご存じの通り、本県の教採の倍率は年々低下し、小学校は2倍を切りました。今、各校で頑張っている先生方が子どもたちに向き合う時間を増やすためにも、そして新たな、かつ優秀な「人材確保」のためにも、教職員の「働き方改革」は必須です。本市では、令和4年度からの給食費の公会計化、令和5年度から順次行う学校納付金の徴収事務統合化、そして、留守番電話の導入、学習指導員・スクールサポートスタッフの全校配置など、教職員の多忙化改善のためにできることを一歩一歩進めています。

ここまで様々な課題を挙げてきましたが、今朝も、上級生が黄色い帽子の1年生の方を時々振り返りながら集団登校する姿や、朝練があるのでしょうか、一生懸命自転車をこいで学校へ急ぐ中学生を見かけました。昨年の4月には見られなかった光景です。コロナ禍の中であっても、様々な工夫を行いながら子どもたちの学びを止めず、「チーム甲府」で取り組んでいきたいと考えています。教育委員の皆様には、これまでも増してお力添えをいただくとともに、忌憚のないご意見をいただくなかで、教育委員会の役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。本年度もよろしくお願いいたします。

簡単ではありますが、新年度にあたってのあいさつといたします。

(2) 会議録署名委員の指名

數野教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理にお願いします。

(3) 前回会議録の承認

數野教育長

前回の議事録について、何かご意見ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

數野教育長

第4号 甲府市立中道北小学校の新校舎完成報告について 資料に基づきまして、樋口総務課長から説明をお願いします。

(樋口総務課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

原委員

学校が建っている場所が中央道等、三方に囲まれている土地が懸念されておりましたが、実際に現地に行かれてみて、状況はいかがだったでしょうか。

樋口総務課長

私も初めて見ましたが、閉塞感というものはあまり感じませんでした。土手が高いということはありませんし、中央道もありますが、校舎の教室から見た感じではそういった閉塞感は感じませんでした。また、中央道が近くにありますが、窓は、二重サッシになっており、開けていれば音は聞こえますが、閉めれば音は全く聞こえませんでした。

原委員

もう一点、自治会の説明会の中で保護者の方から新校舎が放課後児童クラブのある児童館から離れてしまうという懸念がありまして、道路が狭く、側溝があり、小さい子が新校舎から児童館に移動する際に心配だという声がありましたが、新校舎ができて子どもたちの放課後の居場所はどのようになっていくのでしょうか。

樋口総務課長

児童館は継続していくということでありますけども、道路につきましても、令和3年、4年にかけて整備していく予定になっておりますので、地域住民の方々の心配も解消されるのではないかと思います。

數野教育長

他にはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

數野教育長

続きまして、「第5号甲府市議会3月定例会の審議状況について」及び「第6号予算特別委員会の審議状況について」、資料に基づき、一括して樋口総務課長から説明をお願いいたします。

(樋口総務課長から資料に沿って説明)

數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

市川職務代理

黒平の能三番についてですが、担い手についてはどのようになっているのでしょうか。

佐久間歴史文化財課長

担い手につきましては、甲府ばやし保存会が練習をして、行っております。

市川職務代理

必ずしも黒平の方ではないのですね。

佐久間歴史文化財課長

地元の方がすべて継承しきれておらず、有志の方が行っている状況です。

市川職務代理

地元の方を含めて、継承されていくということにご配慮いただければと思います。

岡田委員

甲府商業高校と市立中学校での制服男女選択制についてですが、私の子どもも女子で今年、高校入学をしましたが、スラックスとの選択制が今年から導入されています。デザインや金銭の面

で難しいところもあるかと思いますが、選択できることは素晴らしいと思いますので、子どもたちが選びやすいものにしていただければ有難いと思います。

寺田学校教育課長

制服の男女選択制については、性的マイノリティの対応という観点での質問でしたので、現在の市立中学校におきましては、女子はセーラー服、男子は詰襟。ただ、実際に性的マイノリティについては既に2例ありまして、男子だけど女子の制服を着たい、また逆もありました。これについては個別に柔軟に対応しました。現状、市立中学校におきましては、制服は現行のまま、個別の対応で配慮・支援をしていくということになります。甲府商業高校については、先ほどお話がありましたとおり、防寒対策ということで女子にスラックスとの選択制ということをお聞きしております。

市立中学校については今後マイノリティの対応ということの中でどうするかについては現時点では、課題には上っていないし、保護者からも制服を選択制にしてほしいという声は上がっていない現状となっております。

末木委員

読書通帳の導入について、課題があるということですが、どのような課題でしょうか。

本田図書館長

何点かございます。導入済みの自治体に問い合わせしたところ、通帳タイプとなっておりますが、印字できる文字数が限られている点、本を借りる方の履歴は個人情報ですので制約があるという点、機械そのものにランニングコストがかかり、通帳も導入当初は提携業者から寄付をしていただけていますが、その後は購入しなければならないため、コストがかかるという点です。

原委員

コストがかかる点や個人情報の制約といった課題はあると思いますが、コロナ渦で、家でスマホやゲームをする子どもが増えているというデータが発表されており、いつもより自由に外出ができないという状況の中で、どうしても時間を使う方法がスマホやゲームになってしまい、ある意味、読書は一つのチャンスだと思いますし、学力にもつながっていくと思いますので。ぜひこの機会に推進していただきたいと思います。

他の学校でやっていた話ですが、一冊本を借りるとポイントをもらえ、ポイントを貯めると司書の方が空いている時間に画用紙などでしおりをつくり、ポイント数に応じて差し上げていたそうです。子どもたちはそれがとても嬉しかったようで、子どもたちの中で流行ったそうです。また、ポイントを掲示して、1年生から6年生を比べてみると、意外に3.4年生が5.6年生を上回っていたり、それに負けじと5.6年生がまた借りたりと、借りれば良いというわけではありませんが、この学校の図書館の図書の貸し出しは増えたそうです。智慧を出すことによって、できることもあると思いますので、智慧を出しあっていたらと思います。

本田図書館長

ポイントについては、夏休みにスタンプ帳をつくりまして、司書の手作りのしおり等を差し上

げていました。また、学校では、本を多く読んだ子どもを表彰するというを行っております。

市川職務代理

小中学校における特別支援教育についてですが、全36小中学校に計101の特別支援学級、一つの学校に2学級ないし3学級の状況の中で、甲府市の場合には、学校教育課で就学相談をする中で、心配になっている親御さんの不安を取り除きながら、また子どもたちの適切な関係を与えられるように努力していただいているので、良い状況にあると思っています。ただ一つ一番心配なのは、診断名がついてこういう障害がありますよということがはっきりされた子どもさんは、保護者の理解も進み、対応を取りやすいと思いますが、診断名がつくほどではないが、ある程度の障害の疑いがあるという子どもたちの配慮をするのはなかなか難しい。通常の学級の中にいて担任が対応をするという状況がありますけども、そういったところに何か考えていただく必要があるのではないかと思います。そういった子どもたちの保護者がその状況をどう理解するのかということも難しい問題だと思いますが、担任にしる、管理職にしる、うかつに保護者に対して働きかけとしてできないということもあります。そうではなくても決めつけという捉えがありますし、うまく対応するように考えていく必要があると思います。

寺田学校教育課長

本市の場合は、平成19年度から特別支援教育が始まりまして、いわゆる、今までは特殊学級でニーズに合わせて対応しており、通常学級における特性のあるお子さんへの対応が特別支援教育の狙いであり、今の課題であると考えています。

その中で、発達特性に疑問を持った時に親御さんに言うのは難しい状況にありまして、まずは、学校と親御さんの信頼関係を作る中で子どもさんにとってより良い学びの場はどこかということ徐徐に提案していくことが一つ必要だと思います。

特別支援教育支援員等の配置や臨床心理士を雇用しての発達相談等行っており、併せて人材とともに学校の中で研修も積んでいただくということで、人だけを増やして対応するのではなく、理解のある人材を育てないとなかなかうまく対応できない部分があります。このため、研修には力をいれておりまして、特別支援教育の研究会を立ち上げまして、通常学級の特性のあるお子さんに対してどのような支援をすることが良いのか、学校現場でもそんな研究に取り組んでおります。

人材の確保とともに人材育成、研修などを併せてやりながら進めていく必要があるかなと思います。

數野教育長

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

今の様々なご意見またご提案をいただきましたので、また事務局として参考にさせていただきたいと思います。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

数野教育長

他には何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

数野教育長

それではこれもちまして、4月定例教育委員会を閉会します。